

## 平成23年度予算の概要

### (1) 予算編成方針

1. 平成23年度予算は、①少子高齢化（内圧）と②国際化の波（外圧）が一気に加速すると予想される10年後（2020年）の変化の時に向け、「本学は如何に備えていくか。」を考え、今から3年から5年のうちに具体的に手を打っていく最初の年の予算編成である、と位置付けます。
2. 予算編成方針としては、健全な財政状態と経営成績を維持していくことを基本に、①本学の強みを伸ばし、②弱みは正す、或いは切り捨てる取組みを促す為に、あらためて各部署の予算の狙いを明確にして、10年後に向けた本学の備えにつなげる意思を予算編成に盛込むものと致します。
3. 特に平成23年度からの3年間は、大掛かりな建物改修・修繕と施設整備工事を計画しており、限られた財源の捻出の為には従来行われていた予算配分の見直しも必要と考えます。長年続いた既得予算を、「全体最適」の観点からどう組み直していくか、について、広く学内での検討に取り組む初年度としたいと思えます。
4. 財務の健全性維持の為、次の数値管理を原則と致します。
  - 1) 現時点での帰属収入の8割相当額を手元流動資金として確保します。
  - 2) 人件費比率（毎期帰属収入に対する人件費の割合）を50%台に留めます。
5. 学生納付金は、学部、大学院とも据え置きと致します。
6. 入学者数は、学部440名、大学院15名と致します。
7. 補助金は前年並みの獲得を目指します。
8. 人件費は、教職員共に1名増の予算を見込んでますが、教員については、前年度並びに今年度（平成21年/22年度）の退職者の補充や交代人事が実施されていないことから、目下、23年度以降の教員数や補充・交代人事に対する考え方につき検討が為されています。職員については、建物改修工事の狙いの一つである、縦割り業務を変え、より効率且つ活性化に向けた業務体制への転換に取り組んでいきます。大学全体として、上述数値管理により、10年後も人件費比率を50%台に抑える取組みを続けてまいります。
9. 教育・管理経費は平成21年度実績並みに近づけるべく、抑制にむけた努力を全学で行ってまいります。
10. 私学事業団借入金並びに聖心侍女修道会借入の返済が完了致します。
11. 基本金組み入れは、2号組入れ1億円（1号館建替えに備えた積立）を継続し、新たに改修工事分（初年度の5億円概算）と返済分（1億円）を含めた約770百万円を見込みます。
12. これらの結果、平成23年度単年度キャッシュフローはマイナス560百万円となります。以後、平成24年度はマイナス約120百万円、25年度もマイナス150百

万円と三期連続の単年度キャッシュフローの赤字見込み（三期赤字幅合計は 830 百万円）となり、支払資金（22 年度末見込み額は約 29 億円）を食潰しますが、それにより、改修工事の狙いが実現し、建物改修・施設整備に費やされた工事費は基本金として、大学の資産に組み入れられます。平成 26 年度以降は再び、単年度黒字となり、手元流動資金は現在の帰属収入の 8 割水準を維持、或いは更に上回る水準に回復させてまいります。

## （2）消費収支予算

平成 23 年度消費収支予算は、帰属収入合計 24 億 8,915 万 1 千円、これに基本金組入額 7 億 7,192 万 4 千円を差し引いた消費収入の部合計は 17 億 1,722 万 7 千円になります。一方、消費支出の部合計は 24 億 5,521 万 5 千円となり、消費収支戻は 7 億 3,798 万 8 千円の支出超過となる見込みです。これに前年度繰越消費支出超過額 20 億 5,891 万 5 千円を加えた翌年度繰越支出超過額は 27 億 9,690 万 3 千円の見込みとなります。

前年度予算との対比では、基本金組入額は今年度のキャンパス再編に関わる工事により 4 億 9,938 万 5 千円増加するために消費収入の部合計は前年度比 5 億 533 万 8 千円の減少となる見込みです。一方、消費支出の部合計は、人件費やキャンパス再編により諸経費の増加等により、前年度比 8,023 万 7 千円増加します。この結果、当年度消費支出超過額は、7 億 3,798 万 8 千円となり前年度比 5 億 8,557 万 5 千円増となる見込みです。

## （3）資金収支予算

平成 23 年度資金収支予算は、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計は 59 億 9,873 万 4 千円となり前年度比 2 億 3,744 万 5 千円の増加となる見込みです。これは前年度繰越支払資金が前年比 4 億 4,710 万 5 千円増加したことによります。これに対して、支出の部では、人件費支出や借入金等返済及びキャンパス再編に関わる工事等に対する施設関係支出の増加等により、次年度繰越支払資金は、24 億 2,620 万円となり前年度比 3 億 5,015 万円の減少となる見込みです。

以 上